

7月のひとこと

ついにこのレポートを書くのも最後になります。今、これを書いているのも日本です。7月は帰国ギリギリまでインターンをしたりどうしても行ってみたい場所へ行ってみたりしました。今回は1年間のまとめも交えて記録したいと思います。

7月の目標

- 1月から始めたインターンを最後までやり遂げる。
- 最終月、風邪をひくことなく元気に過ごす。

ふりかえり

- 最後の修了式イベントは帰国後に行われたので日本からのオンライン参加でしたが、前タームよりもより良い授業を作ることができたと思います。しかし、文法理解の時間と応用(活動)の時間のバランスがとても難しく、その点においては改善の余地があると感じています。他にも、授業中の発話やフィードバック等の課題点は残っているので復学後にまた鍛え直したいと思います。
- メキシコに来てから小さな体調不良はあるものの1月以降酷い風邪や深刻な体調不良はなかったのですが、今月はここぞとばかりに酷く体調を崩しました…。しかし、旅行やインターンがあるときに体調不良を起こさなかったのが不幸中の幸いです。^^;

1年を振り返って：言語学習の観点から

私の最後のまとめとして、専攻と絡めて言語学習の観点から話そうと思います。高校時代、英語の先生から英語脳を作れ、日本語と違う回路を作れといつも言われていました。特に英語が得意でもない私は、どういうことがさっぱりわからないまま大学進学、渡墨しました。そしてメキシコでの生活が、違う言語の脳や回路を作るということがどういうことか考える機会をもう一度与えてくれて、さらに私の言語そのものに対する根本的な考え方の間違いに気づかせてくれました。机上で勉強していたときは直訳的な捉え方をしていて、これが所謂日本語の脳だけで考えている状態だったのだと思います。しかしスペイン語文化圏であるメキシコで生活して、当然ですが直訳には限界があることを実感しました。分かりやすい例としては、Enseñarという単語です。日本では主に「教える」という意味でテキストや授業で使用されていましたが、メキシコでは「見せる」という意味で日常的に使われます。また、mostrar

7月のハピニングBEST4

- 旅先で現役で日本語教師をしている日本人に出会う！！これは良いハピニング
- 友だちからサプライズでマリアッチバージョンのちいかわをもらって涙
- 帰国するために空港へ向かう道中、渋滞にはまり到着がかなりギリギリになる
- 旅先で新手のナンパに遭遇する

ハチドリの赤ちゃんを発見！

メキシコではハチドリはColibríと呼ばれ、神話や文化において幸運を運ぶ象徴とされています。また、マヤ神話では創造時に伝達鳥の役目を担ったと信じられています。そのため、メキシコの伝統工芸品であるアレブリヘや刺繡のモチーフ等でもよく見られます。今回は友だちの家で休憩しているハチドリの赤ちゃんを偶然見つけました。赤ちゃんの方が大人のハチドリより体毛がふわふわしていてとても可愛らしかったです。

やverという単語も「見る」に関連した意味を持ちます。こうした単語のニュアンスの違いを理解するには、その言語文化圏の視点を持つことは必然です。実際にメキシコ人の輪に入ってみて、その言語の背景にある生活を知ること・経験することが第2言語の脳や回路を組み立てるのだと実感しました。「言葉は生もの」と言われるように言葉は生きていて、言語学習には際限がありません。言語を学ぶことは、文法や単語等言語そのものに加えて、その言語の背景にある文化・生活に触れることだと思います。このスペイン語脳や回路が建設される過程を自分で体感できたことはとても面白かったです。そしてこのことは、言語の数だけ自分の中に違う世界を創造することだと思います。そう考えると、言葉を学ぶことはとても素敵で素晴らしいことだと感じませんか？メキシコで過ごしたこの1年は、大小関わらずたくさんの経験が私に新たな価値観をもたらしてくれましたが、経験だけでなく、伝達手段である言葉さえも私に新しい視点をもたらしてくれました。思えばこの1年は、既存の価値観を壊してはまた新しく創ることの繰り返しでした。その過程で数々でも成長できていれば嬉しいなと思います。日本で生活していると、どうしても私の生き方はこれしかないのでないかという考えに陥りがちですが、いろんな生き方や考え方があるということを忘れずに自分の人生や将来に反映させていきたいです。

そして最後に、1年前はこんなにメキシコのことを好きになるとは思っていませんでした。メキシコの人たちは困っている人がいたらすかさず声をかけてあげる、そんな人たちばかりです。やさしい人と音楽であふれているメキシコが本当に大好きです。私にとって本当に貴重な1年間でした。また自分にできる形で、メキシコにも恩返しできたらいいなと思います。

念願チアパス！！

ずっと行きたいと思っていたチアパスに弾丸でしたがやっと行くことができました…！チアパス州はグアテマラと国境に接する地域でマヤ文化圏に属しています。そして、チアパスはスペイン植民地時代前の先住民族の伝統が未だ根強く受け継がれている地域でもあり、現地住民の普段の生活からもその様子が伺えました。旅行中、聞こえてくる会話がマヤ語族らしき言葉で話されてたり、身にまとっている服が他の州と全然違っていたり、とても新鮮で興味深かったです。そして今回訪れた中で特に印象に残っているのは、サンファンチャムラにある教会です。教会の中に入つてみると、床一面に厄災や邪気を払うための草が敷き詰められ、時折草を円形によけたところの中心に現地の人がろうそくを立ててお祈りしていました。沢山の草とろうそくで、教会の中は外よりも暖かく草の匂いが充満していて独特な雰囲気を醸し出していました。ここまででも他の教会とはかなり異なっているのですが、最も衝撃的なのはお供えの儀式で、生きている鶏の首を儀式中に折ってキリストにお供えします。今回たまたま現地の人がしているところを見られましたが、私にとってはそうした儀式自体空想の世界だけのように思っていたので、かなり強烈でした。写真は残念ながら撮影禁止だったのでありませんが、あの光景と雰囲気は一生心に残り続けると思います。

また、教会を見に行く前にガイドさんにシナカンタンという村に連れて行ってもらいました。シナカンタンはお花のモチーフの刺繡が美しく印象的な民族衣装で知られています。今回は工房で刺繡の施し方の説明や民族衣装の試着をさせてもらいました。また、シナカンタンでは民族衣装の上からカーディガン等をきている人が多かったです。工房には部屋いっぱいに刺繡されたものが飾られていて、本当にどれもかわいくて素敵な空間でした。

7月のきろく



チアパスの刺繡ぬいぐるみ！
とってもかわいい ^ ^



見た目おでんなチアパスの
郷土料理、おいしかった



POX、チアパスの地酒
いろんな味があります



シナカンタンの工房にて
ここも花でいっぱい！



映画鑑賞会！



名前忘れちゃったけど
家庭的な料理らしい



友だちがプレゼントしてくれた
手作りのちいかわマリアッチ泣泣



帰国の飛行機でやっと
リメンバー・ミーを見る



試着したチアパスの民族衣装
刺繡が細かい～！